

西多久町老人クラブが 市内初の全国と県 表彰に輝く！

活動内容や地域への貢献に高い評価



▲山口会長（前列中央）をはじめ、喜びの役員のみなさん

西多久町老人クラブ（白雲会）がこのほど、『2009活動賞（仲間づくり部門）』と『佐賀県老人クラブ連合会会長表彰（優良老人クラブ表彰）』を受賞しました。
両賞は、多久市で老人クラブ活動が始まって以来の初受賞。伝統ある活動とみなさんの絆の深さがもたらしたこのダブル受賞に喜びもひとしおです。

（財）佐賀県老人クラブ連合会から贈られた『優良老人クラブ表彰』は、県内2団体が受賞。社会活動に率先して取り組み、地域に貢献している功績が認められたものです。

また、（財）全国老人クラブ連合会から贈呈された『仲間づくり活動』の表彰は、県内で1団体が受賞。加入促進につながる活動をはじめ、取り組み内容やアイデアが評価されました。

昭和33年4月結成の同クラブは、68歳以上約300人が会員で、加入率ほぼ100%。

毎月3回の定例会、誕生会、

スポーツ・文化・演芸活動など会員相互間の親睦や仲間づくりを行いながら、町内各所での清掃・除草作業や小学生とのふれあいなど地域活動も多彩で、市内でもリーダー的なクラブです。

山口昭会長は「私たちの活動を称えていただき、幸せなことです。これからも諸先輩会員の教えを守り、仲間や地域との絆を深く、賞に恥じない活動をしたい」と、さらなる活動の充実と感謝の気持ちを話されました。

おかげできれいにになりました 老人クラブが小学校で除草作業

多久市老人クラブ連合会（梶原信久会長）は、「きれいな地球を子どもたちへ」を合言葉に、9月15日を『社会奉仕の日』に設定し、市内の小学校でグランドや花壇などの除草作業を行いました。

20年以上続く全国運動に呼応した活動で、市内12クラブが活動の一環として行っている日常的な地域の清掃美化や花づくり、資源ゴミ回収など社会奉仕やボランティア活動に加え、初めて一斉に取り組んだもの。各クラブから30人ほどが校区の小学校で作業をしたもので、約300人が参加しました。

緑が丘小では、砂原高砂会の会員が正門近くの花壇を除草。梶原会長は「作業を通して日頃のふれあいや交流の縁づくりを続けたい」と話し、菊池典男教頭は「みなさんの笑顔や奉仕活動を間近で感じ、子どもたちも笑顔になっていました。登下校で思い出し、心豊かで優しい子どもに育ってほしい」と学校への協力に感謝されていました。



▲丁寧に花壇を手入れする砂原高砂会のみなさん。この後1、2年生からお礼の言葉が贈られました。



▲市内最高齢の藤原さんを囲むご家族と市長

9月12日、横尾市長が市内最高齢者で107歳の藤原チヨさんと100歳の市民4人に花束や祝い金などを贈り、長寿を祝いました。



市長がお祝の表敬訪問！ ご長寿多久市一の藤原さんと百歳の4人を祝う

明治35年生まれでケアハイッやすらぎに入所中の藤原さん（中多久一区）は、杖を使った歩行ですが、健康状態は良好。歌うことが好きで、大正時代後半に流行した「籠の鳥」がお得意です。市長が「益々、お元気で！おめでとうございます」と手渡すと、「苦労もありましたが、おかげさまで長生きできてます。祝ってもらって本当にありがとうございます」とお礼を述べ、涙を流して感激されていました。

なお市では、訪問先以外の100歳以上の7人と米寿（88歳）を迎えられた111人にも今後の健やかな長寿を願い、敬老祝いを贈っています。

■満100歳の長寿祝いを受けた方々

尾鷲政雄さん

（裏納所）

森アキエさん

（天寿荘）



野田イセさん

（メイプルタウン）

宮原スミエさん

（恵光園）



※該当者は9月15日現在の年齢です